



医療法人社団二山会 広報誌 第56号



ハートフル

# Heartful 通信

理念

Heartful Hospital

心のかよった医療

基本方針

1. わたくしたちは、患者のみなさまの立場になって考えます。
2. わたくしたちは、患者のみなさまが社会復帰できるよう努力します。
3. わたくしたちは、地域に開かれ、信頼され、必要とされるあたたかい施設をめざします。

## 最後は誰が決めるの？

院長 富永 春夫



毎年参加している研究会で、「判断能力の不十分な患者の治療決定方針のあり方」という講演がありました。

厚労省でガイドライン改訂に向けた検討が行われており、従来の「患者本人による意思決定を基本とした上で、患者の意志が確認出来ない場合には、家族等との話し合いを通じて患者にとって最善の治療方針を探る」という決定のあり方に、「患者は家族等を自らの意志を推定する者として前もって定めておくことが望ましい」との文言の追加が提案されているとのことでした。

少子化、晩婚化などにより、高齢者の単身世帯が急増している現代社会において、「誰が決めるの？」という医療方針の決定者のそのまた決定はどうすべきなのでしょうか。

前述の改定案では「家族等が居ない場合及び家族等が判断を医療・ケアチームに委ねる場合には、患者にとって最善の方針をとることを基本とする」と述べるにとどまり、具体的な方針決定のあり方は示されていないようです。

さあ、どうしましょう。「先生にお任せします」と言われることも度々ありますが、自分自身がいつ逆の立場になるか解りません。

家族や知人、主治医、ケア担当者などと、自分が望む生き方や医療方針について、少しでも早く話し合っておくべきでしょうか。「適当にね」「任せたよ」「痛いのが苦しいのは嫌だよ」「もし何かあったら、最後は眠るように……」くらいで理解してくれる人がいれば楽なのでしょうが、そう簡単にはいかないようです。



# 広島中央認知症疾患医療センター 活動報告

当院は平成 25 年 2 月に広島県から『広島中央認知症疾患医療センター』の指定を受け、地域の関係機関と連携しながら、認知症に関する鑑別診断や専門医療相談を行うとともに、研修などの情報発信を行っています。新年度を迎え、昨年度の活動報告と取り組みについてご報告します。

当センターの中心的な機能である鑑別診断の件数は 136 件、予約の受付など相談員が対応した相談件数は 365 件でした。

平成 30 年 2 月 2 日には広島中央地区認知症医療連携協議会を開催し、関係機関の方々に広くご参加を呼びかけ、行政・地域包括・連携病院・医師会・歯科医師会・薬剤師会・ケアマネ連絡協議会・家族会等、様々な立場の方にご参加頂きました。当センターの事業報告とあわせ、道路交通法改正後、センターでも診断書作成のために受診される方が増えており、各市町の実情を話し合い、有意義な意見交換の場を持つことができました。今年度も認知症医療にかかわる皆様との連携強化に努めていきたいと考えています。

また、東広島市から受託している『認知症初期集中支援チーム』では、東広島市地域包括支援センターとのきめ細やかな連携のもと、16 名の対象者に対してのべ 74 回の訪問を行なって参りました。これからも、認知症を疑われる方やそのご家族との関係づくりや、医療・福祉の関係機関との連携を図ることにより、必要な支援を展開できるよう努めていきます。

同じく東広島市から委託を受けている『認知症カフェ』は、毎月第 2 土曜日に開催し、毎回 20 名前後の方々にご参加頂いています。カフェも年々参加者が増えており、今後も様々な企画も行いながら、よりいっそう充実させていきたいと考えています。

今後も地域の皆さまのお役に立てますよう、より一層、地域連携や情報発信を積極的にすすめていきたいと思っております。

今後ともご指導・ご協力をよろしくお願いいたします。



## スタッフリレーコラム

二山会のスタッフがリレー方式でつなぐミニコーナーです。  
日頃の何気ないことなど、つぶやいていきたいと思っております！

私は幼い頃から、父の趣味である登山を家族で楽しんでいました。

今は、幼い頃から一緒に登山していた父と我が子の三世代で毎年秋に、庄原市と奥出雲の境にある標高 1, 239m の吾妻山に登っています。

同じ時期の同じ山でも、深緑が楽しめたり、赤や黄色に色づいた紅葉の美しさを楽しめたりする吾妻山。今年はなんと、例年より早い積雪のため驚くほどの銀世界でした！

仕事をしているとせわしく日々が過ぎていきますが、自然の中に入ると時間がゆっくりと流れ、すがすがしい気分になり自然からのパワーが活力となります。



一年に一度の吾妻山の登山は、私の心の洗濯であり健康のバロメーターでもあります。みなさんもドライブがてら是非、出掛けてみてください！



託児所 主任 畑中 美生

次は 栄養管理室 室長 森満 恵 さん  
よろしくお願いいたします！！



# とんど



2月21日にとんどを行いました。

勢いよく燃えるとんどを見て、皆さん楽しみ、懐かしんでおられました。芯棒が倒れた後は皆で今年の無病息災を祈ることが出来ました。温かい豚汁も出て、参加者全員で美味しく食べ、身も心も温まりました。



# 大ゲーム大会



3月14日に大ゲーム大会が行われました。ゲームは、卓球・グランドゴルフ・オセロ・ばば抜きが行われ、各部署から多くの方が参加され、それぞれ得意なことや日頃の成果を発揮されていました。卓球では優勝をかけて白熱した試合があり、トランプ・オセロでは静かな駆け引きが行われるなど、どのゲームでも参加者や応援に来てくださった方々も一緒に大きく盛り上がる事が出来ました！！みなさんお疲れ様でした。



# 栄養管理室便り

栄養管理室前の桜が満開となりました。今年は桜の開花が早いですね。今回は、『つくし』について紹介します。抗酸化ビタミンのβカロテン（老化の原因となる活性酸素の発生を抑える作用、免疫活性作用、発がん抑制作用があります）、ビタミンE（細胞の老化を予防する効果があります）、ビタミンCをバランスよく含みます。選ぶポイントとして、**頭の部分がしっかりと締まっていて、まだ胞子を散らしていないもの**を選びます。開ききって緑色の胞子が無くなっているものは枯れる手前です。

～つくしの佃煮～

【材料】つくし・500g（茹でて絞った量）しょうゆ・大さじ2～3

酒・大さじ5 砂糖・大さじ1/2 みりん・大さじ1/2 いりごま・適量

【作り方】①処理したつくしを洗って水につけておく ②たっぷりお湯を沸かす ③つくしを2分くらい茹でザルにあげ、水にさらす ④鍋に調味料を入れて火にかけ、沸騰したらつくしを入れて煮る ⑤弱火で水分がなくなるまで煮詰め、ごまを散らす。



## 平成29年度 第4回 家族教室を開催しました (2/17)



今回の家族教室は、作業療法室主任・村上が講師となり『作業療法を知ろう～私たちの大切な“作業”について考える～』をテーマに、10名の方が参加されました。作業療法は心と身体の両面からサポートするもので、作業療法士が治療上大切にしている考えについてのお話から、誰もが日常生活で「作業」をしているという説明がありました。参加者自身の「作業」を振り返るワークも行い、患者様にとっての作業療法についても理解していただけたと思います。

参加者からは、「参考になった」「日常生活の振り返りができた」等の声をいただきました。次回は5月26日(土)に予定しています。別紙案内(ご家族のみ配布)をご覧ください。

### 【外来診療案内】

診療時間 8:45～12:00 13:00～16:00 日・祝休診

初診受付 8:30～11:00 12:45～14:30

再診受付 8:45～11:30 12:45～15:30

※初診の方で土曜日をご希望の方は、予約制となっています。木曜日は再診のみです。

お問合せは、お気軽に 宗近病院代表電話(082)423-2726 まで!

広島中央認知症疾患医療センター 月・火・水・金・土 午前 予約制

直通電話(082)493-8651にて、予約を承ります。



広報誌に掲載の写像是全てご本人の了承を得ております。

<発行者>医療法人社団 二山会

<編集>広報委員会

〒739-0024 広島県市西条町御園宇 703

Tel(082)423-2726 Fax (082)424-2999

<Eメール> [youyou@youyou.or.jp](mailto:youyou@youyou.or.jp)

<ホームページ> <http://www.youyou.or.jp>

<発行日> 2018年4月

編集後記

春の代表的な花と言えば桜ですが、私の場合はシロツメクサやタンポポなど身近な花が道端で咲いているのを見ると、春を感じます。特に菜の花を見ると、なぜか他の花を見るよりも気分がウキウキして元氣が出るので、幼い頃はそれこそ菜の花が咲いたと言っただけで、登下校のあぜ道でルンルンしながら遊んで過ごしたものでした。

春といえば花だけでなく、植物や生き物なども躍動する季節なので、皆さんもこの時期だけの自分なりの小さな楽しみを見つけ、ささやかなひと時を感じてみられてはいかがでしょうか。

(M・M)